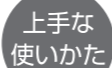




注意

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故のおそれ)

- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)



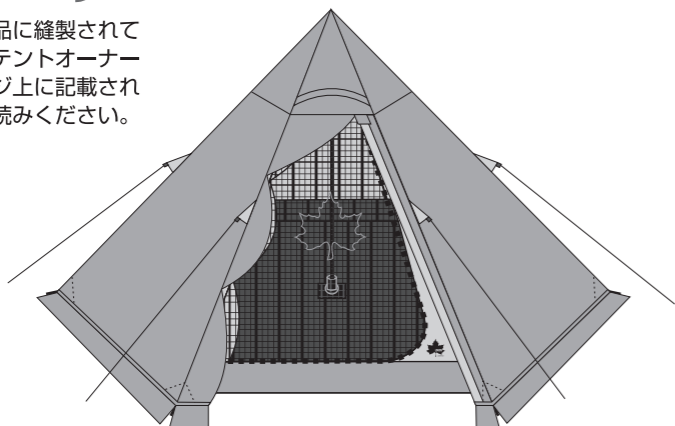
上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表 ()は素材

| | | |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|
| フライシート×1 | インナーテント×1 | センターポール×1 (スチール) |
| ペグ×20 (スチール) | ロープ 2.5M×6 ※装着済み | ハンマー×1 ※サービス品 |

- ### 設営方法
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。
 - フライシートのみ設営して、日除けとして使用できます。

1 センターポールを連結して組み立てる

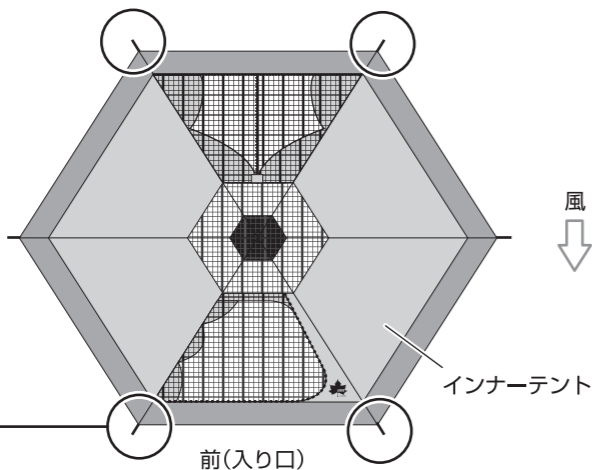


2 インナーテントを広げて、ペグで固定する

- ペグは4か所打ち込む。

Point

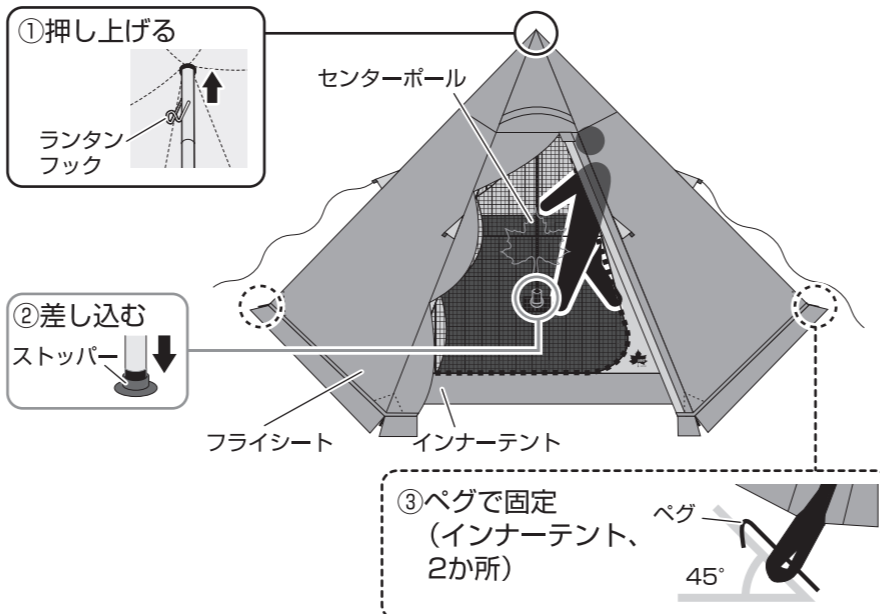
- 入り口が風下になるようにしてください。
- 対角線を順番にペグダウンすると、きれいに張れます。



3 フライシートをかぶせて、センターポールでインナーテントを持ち上げる

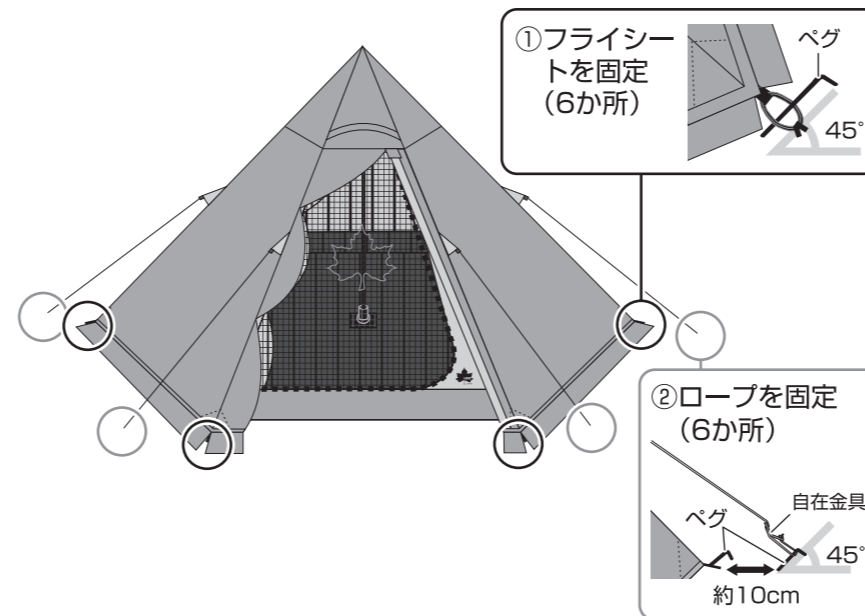
Point

- フライシートとインナーテントの入り口を合わせてください。
- センターポールはランタンフックが上になるようにしてください。



4 ペグで地面に固定する

- ペグは12か所打ち込む。

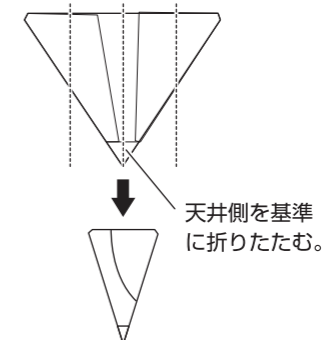


収納のPoint

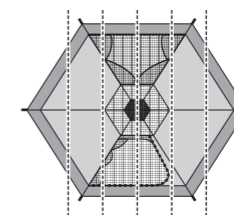
生地 특성上、湿気を放置するとカビが発生しやすいため、撤収する前に、生地を十分乾燥させてください。悪天候などで撤収時に乾燥させることが難しい場合は、自宅などでの保管前に乾燥させてください。

- インナーテントはたたむ直前にペグを抜くと作業がしやすいです。
- ファスナーは少し開けておきます。
- ロープはすべて結んでおきます(からまりやすいため)。
- 収納バッグの幅にあわせて折ります。

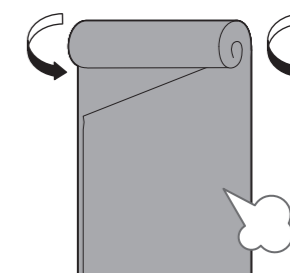
① フライシートをたたむ



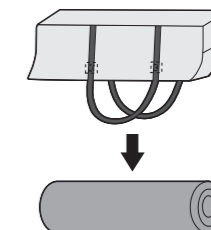
② ペグを抜いて、インナーテントをたたむ



③ ①と②を重ねて、フライシートの天井側からフレームを軸に空気を抜きながら巻き込む



④ 収納バッグをかぶせる



- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。